

令和2年9月30日

静岡県立中央図書館 新型コロナウイルス感染防止方針

静岡県立中央図書館では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続し、来館者の皆様の健康・命を守りつつ、図書館としての役割を果たしていきます。皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

区分	主な対策
密閉対策	<ul style="list-style-type: none">・機械換気と窓の開閉の併用による換気を実施します。
密集対策	<ul style="list-style-type: none">・各カウンター前の立ち位置マークと誘導マークを設置します。・閲覧室等の椅子の間引きします。・来館者が身体的距離をとるようお願いします。
密接対策	<ul style="list-style-type: none">・各カウンターに透明の簡易シールドを設置します。・長時間利用の利用はご遠慮ください。
衛生対策	<p>【来館者様へのお願い】</p> <ul style="list-style-type: none">・マスクの着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒、接触確認アプリの活用をお願いします。・体調不良の方の利用はご遠慮ください。・総合案内カウンター前でサーモグラフィーによる体温の計測をお願いします。・子どもコーナー入口で検温をお願いします。・マスクを外しての会話及びマスク着用時でも大声での会話はご遠慮ください。・イベント実施時に記録票等の記載を依頼し、適正に管理します。
その他	<ul style="list-style-type: none">・不特定多数が頻繁に触れる部分の清掃、消毒を実施します。・ブックフィルムがかけてある返却本は、表面を消毒します。・職員は、マスクを着用します。また、手洗い・手指の消毒、検温等による体調管理を励行します。

県有施設における感染防止対策（チェックリスト）

項目		チェック内容	施設の具体的対応
現状のリスク評価	接触感染のリスク評価	<ul style="list-style-type: none"> ■他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定 ■高頻度接触部位（テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり・つり革、エレベーターのボタンなど）には特に注意 	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数が頻繁に触れる部分の清掃・消毒の実施
	飛沫感染のリスク評価	<ul style="list-style-type: none"> ■換気の状態を考慮しつつ、人と人との距離がどの程度維持できるか、施設内で大声などを出す場がどこにあるかなどを評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械換気と窓の開閉の併用による換気 ・マスクを外しての大声での会話の制限の依頼
基本的な留意点		<ul style="list-style-type: none"> ■人との接触を避け、密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を空けること ■感染防止のための入館者の整理（密にならないように対応。発熱又はその他の感冒様症状を呈している者の入館制限を含む） ■入口及び施設内の手指の消毒設備の設置 ■マスクの着用（職員及び入館者に対する周知） ■主催者は、参加者等に対し原則、マスク着用を依頼すること。ただし、同時に熱中症等対策を講じる場合は、着用の必要性を確認し、参加者等に注意喚起すること ■施設の換気（窓開け、換気扇、扇風機等） ■施設の消毒 	<ul style="list-style-type: none"> ・各カウンター前に立ち位置のマークの設置及び誘導のための掲示 ・閲覧室等の椅子の間引き ・感染防止の注意喚起の掲示やHP等による周知 ・建物入口2か所に手指消毒液設置 ・職員及び来館者のマスク着用（着用依頼の掲示とHPによる周知） ・機械換気と窓の開閉の併用による換気 ・市販洗浄剤での清拭・消毒
入館者への依頼等		<ul style="list-style-type: none"> ■マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒 ■接触確認アプリの利用 ■感染拡大防止のために施設管理者から連絡先登録等の求めがある場合、積極的に応じること 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者にマスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒、接触確認アプリの利用の依頼を掲示、HPにより周知 ・イベント実施時に「記録票」等の記載の依頼
入館制限		<ul style="list-style-type: none"> □入館制限を行う場合の待機や行列の場所については、密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を空けること（館外の場合には、熱中症対策など特段の配慮） □施設の面積・構造等に応じた、具体的な入館制限の基準の設定 □入館制限について県民の理解が得られるよう丁寧な説明（ホームページ等での周知、当日の呼び掛けなど） □事前予約制の導入など、入館者の分散化による入館制限の回避 	<ul style="list-style-type: none"> ・各カウンター前に立ち位置のマークの設置及び誘導のための掲示 ・長時間利用の遠慮を依頼する掲示とHPによる周知
(症状のある人の入館制限)		<ul style="list-style-type: none"> ■発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入館しないよう呼び掛け。状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入館を制限 ■万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱に十分注意しながら、入館者等の名簿を適正に管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良の方の利用の遠慮を依頼する掲示とHPによる周知 ・総合案内カウンター前でサーモグラフィによる体温の計測 ・子どもコーナー入口での検温 ・イベント実施時に「記録票」等の記載の依頼と記録票の適正管理
共用物品・設備の消毒等		<ul style="list-style-type: none"> ■他人と共用する物品や手が頻回に触れる箇所を工夫して最低限にする ■複数の人の手が触れる場所を適宜消毒。特に、手や口が触れるものは、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を実施 □キャッシュレス決済の導入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数が頻繁に触れる部分の清掃・消毒の実施 ・AVブースの利用中止 ・各カウンター、インターネット端末等の消毒と利用者による消毒 ・ブックフィルムがかけてある返却本の表紙の消毒
受付窓口等		<ul style="list-style-type: none"> ■受付窓口など、人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽 ■入館者の検温（非接触型）や赤外線カメラで体温を確認（機器がある場合） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各カウンターに透明の簡易シールドの設置 ・総合案内カウンター前でサーモグラフィによる体温の計測 ・子どもコーナー入口での検温
トイレ		<ul style="list-style-type: none"> ■便器内は、通常の清掃 ■不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を実施 ■トイレの蓋を開けて汚物を流すよう表示 ■ペーパータオルを設置するか、個人用にタオルを準備 ■ハンドドライヤーは止め、共通のタオルは禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドア、蛇口等の清拭消毒 ・蓋を閉めて流すよう表示 ・ペーパータオル、ハンドドライヤー、共通タオルなし ・ハンカチやタオルは個人が持参

休憩スペース	<ul style="list-style-type: none"> ■一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないようにする ■休憩スペースは、常時換気することに努める ■共有する物品(テーブル、いす等)は、定期的に消毒 □職員が使用する際は、入退室の前後に手洗いを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子の間引き ・常時窓の開放による換気 ・清掃、消毒
ゴミの廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ■鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る ■ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用 ■マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの回収はマスク・手袋を着用 ・ゴミの密閉、清掃後の手洗い励行
清掃・消毒	<ul style="list-style-type: none"> ■市販の界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃 ■通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を、始業前、始業後に清拭消毒 ■手が触れることがない床や壁は、通常の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・市販洗浄剤での清拭消毒
個々の職員の対応	<ul style="list-style-type: none"> □ユニフォームや衣服はこまめに洗濯 ■手洗いや手指消毒の徹底 ■マスク着用 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いや手指消毒の徹底 ・事務室内に手指消毒液の設置 ・職員全員のマスク着用 ・検温等による体調管理の励行 ・共通タオルの廃止